

第十二回企業活性化研究分科会・議事録

<第十一回 2008年6月21日(土) 時間：13：30～17：00 於：専修大学(神田校舎)>

1. 参加者：山本、井端、大野、木村、古山、大柳、渡邊、横山、星野、菅原、宮川、齋藤、酒井、杉本

2. テーマ：企業活性化に関する研究

3. 発表内容

テーマ：『証券会社のリスク管理』

- ・報告者：井上哲男(岩井証券㈱)
- ・配布資料：5枚
- ・報告内容の要旨

本報告は、証券会社におけるリスク管理の現状を報告したものである。まず、証券会社においてどのようなリスクが存在するのかを、①法的規制、②管理体制、③事業内容、④その他(訴訟問題等)の4項目に分け、具体的に各証券会社がどのようなリスクを負っているかを分類し説明された。

次に、リスク管理体制として各証券会社がどのような組織体制を採用しているのか、また証券会社に設けられている自己資本規制比率について説明された。

最後に、証券会社のリスク管理における課題として、自己資本規制比率の算出方法が一定であり、これをそれぞれの規模等に対応させた算出方法に変更すべきではないか、また新しく生まれる金融派生商品に対して法体制に限界があるのではないかという指摘をされている。

4. その他

次回の日程

9月20日(土) 専修大学神田校舎7号館 時間：午後1：30

(文責：菅原智久)